

接続ガイド

2ドライブ搭載 外付ハードディスク
HDS2-UTXシリーズ

本製品の出荷時設定について

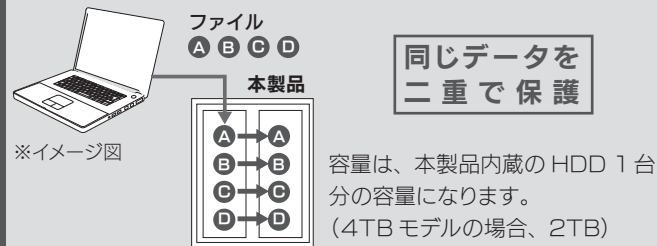
出荷時、本製品はミラーリングモード [RAID 1]、NTFS フォーマットに設定されています。
通常はそのまま使用することをおすすめします。

使用するモードを確認してください

本製品は、2 台の HDD を搭載しており、次の 2 種類のモードで使用することができます。

ミラーリングモード[RAID 1] (出荷時設定)

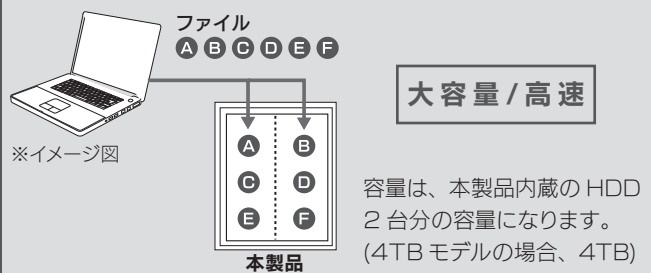
2 台の HDD に同じデータを同時に書き込むため、一方の HDD が故障しても、データは安全に保護されます。



※ミラーリングにより、HDD の故障などの物理的なデータの破損やシステムダウンを防ぐことはできますが、ウィルスの感染やユーザーの操作ミス、使用中の停電などのトラブルに起因するデータ損失を防ぐことはできません。

ストライピングモード[RAID 0]

2 台の HDD を 1 台として認識するため、大容量 HDD として使う場合に最適です。また、2 台の HDD に分散して書き込むためアクセス速度が向上します。



※冗長性はなくなりますので、1 台故障した場合にも、すべてのデータが破損します。

ストライピングモード [RAID 0] で使う場合は、本紙裏面の【モードを変更する場合】をご覧ください。

フォーマットについて

本製品は、NTFS フォーマット済みのため、通常はフォーマットする必要はありません。

ただし、モードを変更した場合、フォーマットが必要になります。

方法は本紙裏面【フォーマットする】、または、【画面で見るマニュアル (Windows 編)】をご覧ください。

※LAN DISK で使う場合は、LAN DISK の取扱説明書をご覧ください。

画面で見るマニュアルの見かた

以下の弊社ホームページからご覧いただけます。
箱や本製品に記載の型番で検索します。

<http://www.iodata.jp/lib/>

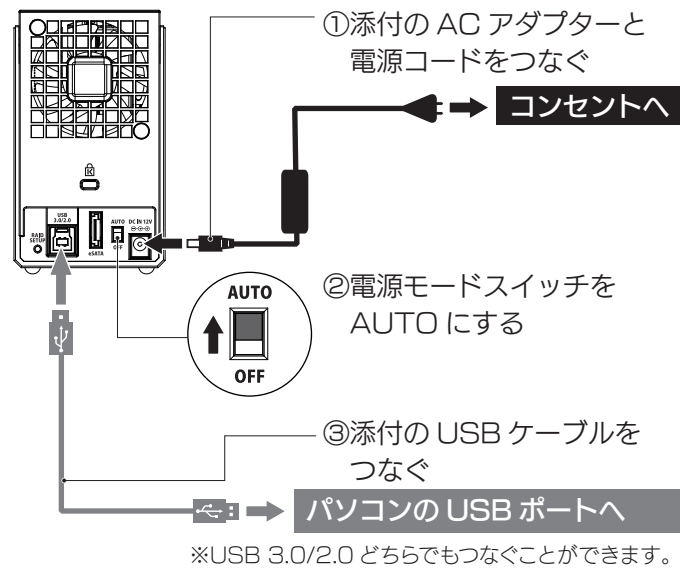


フォーマットする場合のご注意

- フォーマットするとデータはすべて消去されます。
必要なデータがある場合は、先に別のメディアにデータをバックアップしてください。
- 本製品以外の機器は、できるだけ取り外してください。
誤消去を防ぐため、他の機器はできるだけ取り外しておくことをおすすめします。

Windowsで使う場合

パソコンにつなぐ

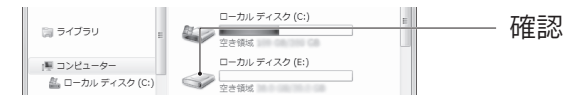


ご注意

コネクタの向きにご注意ください。接続できる向きが決まっています。接続しにくいときは、コネクタの向きをご確認ください。誤った向きで無理に接続すると、ケーブルや端子が破損する恐れがあります。

確認する

ハードディスクアイコンが追加されていれば使用できます。

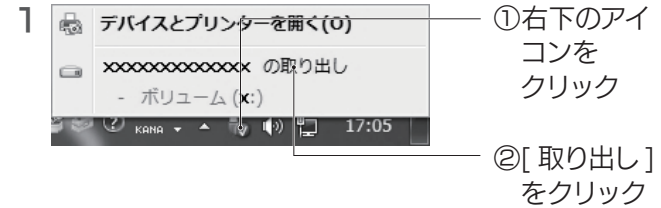


ヒント

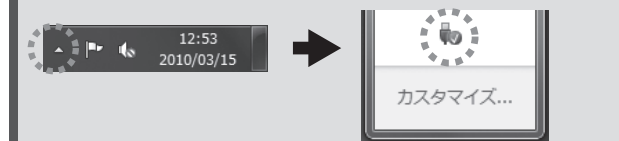
- 本製品のアイコンが分からない場合は、いったん【取り外す】を実行し、消えたアイコンが本製品のアイコンです。
- 本製品のアイコンが表示されない場合は、接続する USB ポートを変えてご確認ください。USB ハブに接続している場合は、パソコン本体の USB ポートに接続してください。

取り外す

※ここではパソコン起動中に本製品を取り外す場合の手順を説明します。



リムーバブルツールが表示されていない場合



2 メッセージを確認し、画面の指示にしたがう

3 本製品を取り外す

ご注意

- コネクタを持って抜きます。
ケーブル部分を引っ張らず、コネクタを持って抜いてください。
- 「取り外しできない」という内容のメッセージが表示された場合は、使用中のソフトウェアを終了してから取り外し操作をおこなってください。それでも同じメッセージが表示されたら、パソコンの電源を切ってから取り外してください。

より便利に使うには

本製品では、ハードディスクをより **アイオー・アップス** 便利に、もっと快適に使用するための **IO APPS** のアイオーアップスを利用できます。

※インストールしなくても、本製品は使用できます。
※アイオーアップスの対応 OS は本製品の対応 OS と異なる場合があります。詳しくは、ソフトのマニュアルをご覧ください。

アイオーアップスを無料ダウンロードするには？

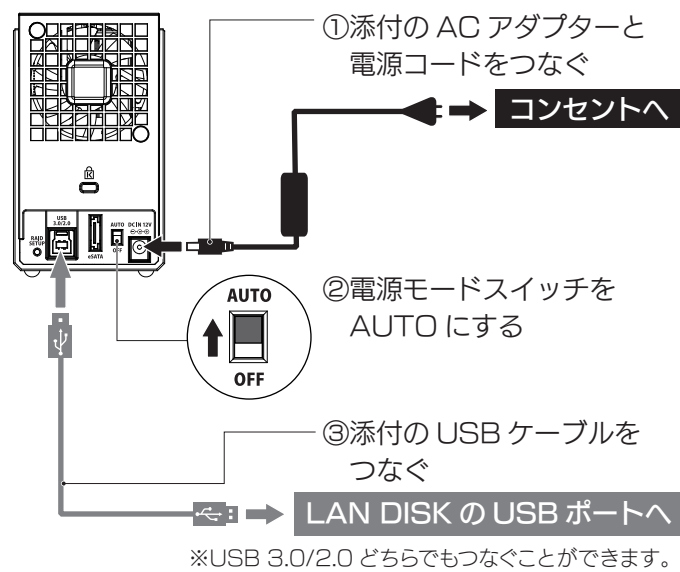
<http://www.iodata.jp/> にアクセス

弊社Webサイト内で[IOAPPS]と検索

IOAPPS 検索

LAN DISKで使う場合

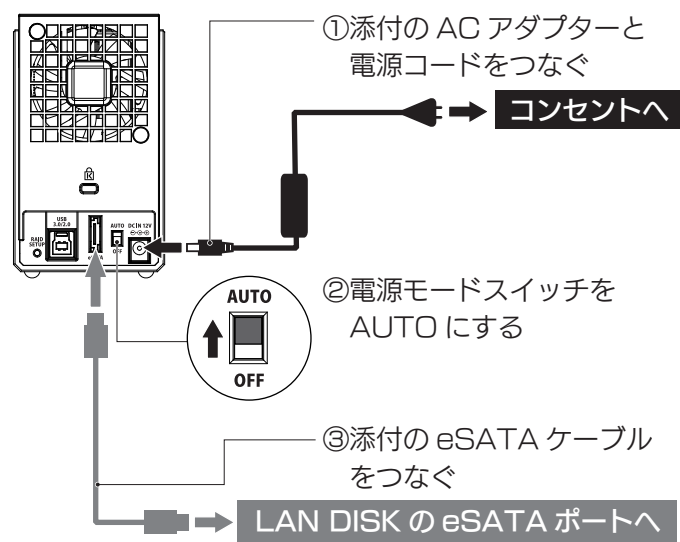
USBでつなぐ場合



ご注意

コネクタの向きにご注意ください。接続できる向きが決まっています。接続しにくいときは、コネクタの向きをご確認ください。誤った向きで無理に接続すると、ケーブルや端子が破損する恐れがあります。

eSATAでつなぐ場合



ご注意

コネクタの向きにご注意ください。接続できる向きが決まっています。接続しにくいときは、コネクタの向きをご確認ください。誤った向きで無理に接続すると、ケーブルや端子が破損する恐れがあります。

使用方法や困ったときには？

取外し方法などその他の使い方については、接続する LAN DISK の取扱説明書をご確認ください。

モードを変更する場合

モードを変更する場合のご注意

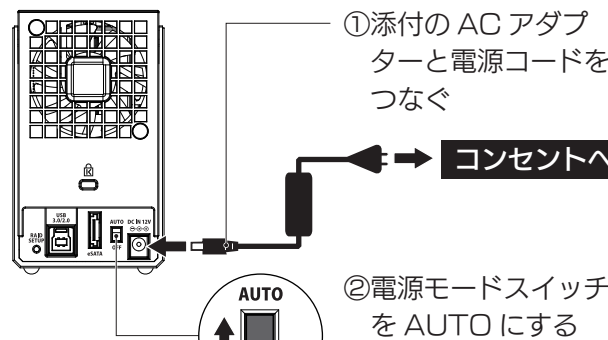
- モードを変更するとデータは消去されます。本製品に必要なデータがある場合は、先に別の HDD などにデータをバックアップしてください。
- 使用するモードに設定したら、必ずフォーマットしてください。別のモードで使用していた本製品を、モード切り替え後、フォーマットせずにそのまま使用すると、故障の原因になります。

1 本製品を取り外す操作をおこなう

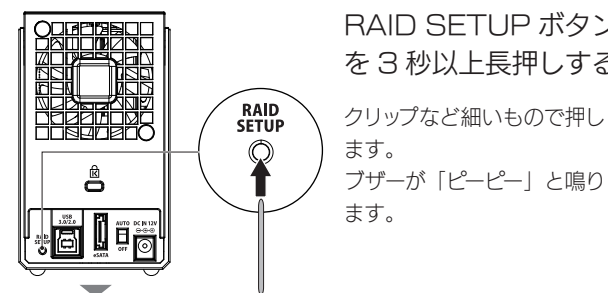
接続されているコード類もすべて取り外します。

- Windows で使用している場合、【取り外す】（本紙表面）の操作をおこないます。※必ずパソコンの電源を切る前におこなってください。
- LAN DISK で使用している場合、LAN DISK の取扱説明書をご確認の上、取り外します。

2



3

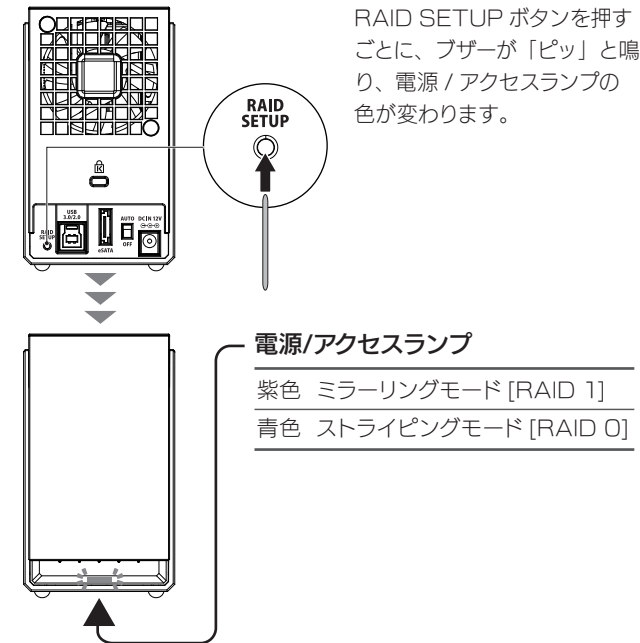


電源 / アクセスランプが点滅したら、設定可能状態になります。

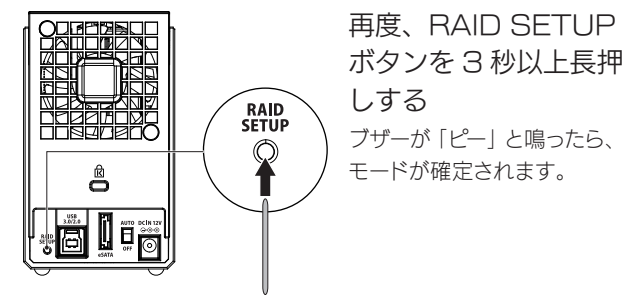
RAID SETUPボタンを誤って押した場合

モード変更をキャンセルする場合は、そのまま電源モードスイッチを OFF にして終了してください。

4 モードを選択する



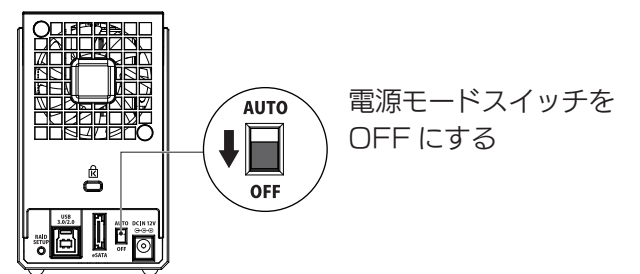
5



ブザーが鳴らない場合

すでにそのモードになっている可能性があります。同じモードへの変更はできません。そのまま電源モードスイッチを OFF にして終了してください。同じモードに設定し直す場合は、一度他のモードに確定してから、再変更してください。

6



7 本製品をつなぎ、フォーマットする

※つなぎ方は、【パソコンで使う場合】または【LAN DISK で使う場合】をご覧ください。

- Windows でフォーマットする場合、【フォーマットする】をご覧ください。
- LAN DISK でフォーマットする場合、LAN DISK の取扱説明書をご確認ください。

これでモードの変更は完了です。

フォーマットする

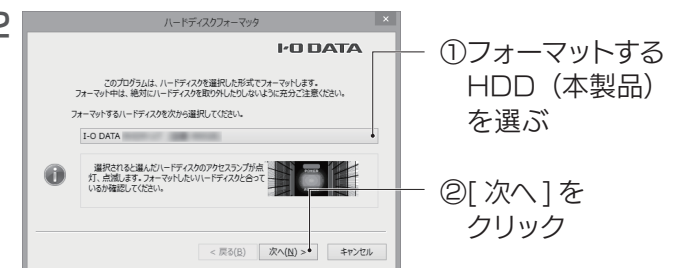
Windows で本製品をフォーマットする場合は、「I-O DATA ハードディスクフォーマット」を使用します。

1 I-O DATA ハードディスクフォーマットを起動する

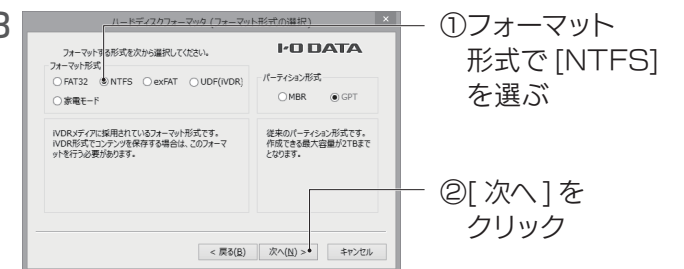
I-O DATAハードディスクフォーマットのインストール方法

- ①以下のサポートライブラリにアクセスする
<http://www.iodata.jp/r/2107>
- ②お使いの OS のアイコンをクリックしダウンロードする
- ③ダウンロードしたファイルをダブルクリックしインストールする

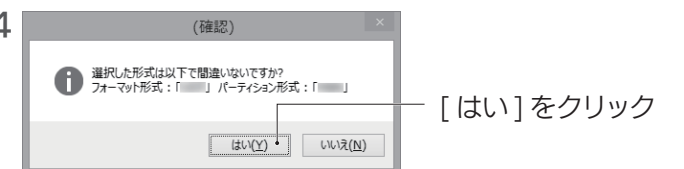
2



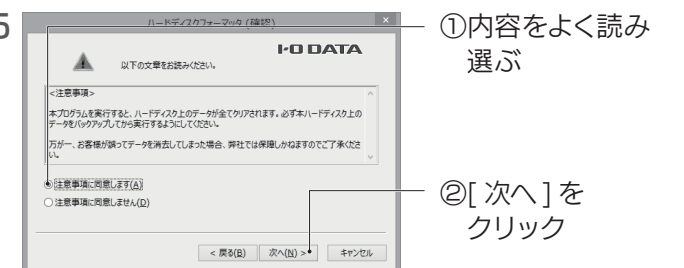
3



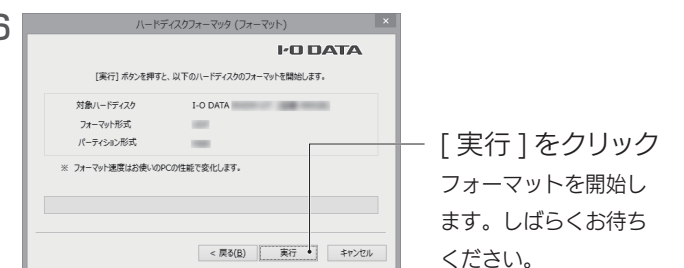
4



5



6



7 [完了]をクリックし、いったん本製品を取り外す

これでフォーマットは完了です。